

中間市教育委員会

定例教育委員会会議録

(平成28年10月)

- 1 日 時 平成28年10月4日(火) 午前10時00分
- 2 場 所 市庁舎 本館 第一委員会室
- 3 出席委員 河本委員長 中尾委員 衛藤委員 齊田委員 増田教育長
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局出席者 濱田教育部長 片平学校教育課長
森学校教育課指導室長 石井学校教育課長補佐
掛橋学校教育課指導主事 古賀生涯学習課長
田中教育総務課長 小林教育総務課総務係長
- 6 傍聴人 1人
- 7 議事日程 別紙のとおり
- 8 議事次第 別紙のとおり

定例教育委員会議事日程

平成28年10月4日（火）午前10時00分

- 1 会議録の承認
9月定例教育委員会会議録
署名委員（中尾委員 齊田委員）
- 2 報告事項
（1）平成28年10月学校教育行事及び社会教育行事について
（2）その他
- 3 協議事項
（1）平成28年11月定例教育委員会の開催について
（2）平成28年度総合教育会議の開催について
（3）その他
- 4 議決事項

[開会時刻：午前10時00分]

河本委員長	<p>それでは、これより平成28年10月の定例教育委員会を開催いたします。</p> <p>最初に、付議事項に入ります。お手元に、9月の議事録があると思いますが、何かおありの方はどうぞ。</p>
各委員	<p>ありません。</p>
河本委員長	<p>なければ、承認ということでよろしくお願いたします。次に、報告事項に移ります。平成28年10月学校教育行事及び社会教育行事について、学校教育行事からご説明をお願いたします。</p>
片平学校教育課長	<p>はい。先にご報告いたしますが、台風18号が接近しておりますので、明日は臨時休校措置をとりたいと考えております。現在、各小中学校に対応をお願いしているところです。なお、東小学校以外の小学校は体育会の代休で月曜日、火曜日が休みになっていますので、なるべく早く保護者の方に連絡を回せるように対応しているところでございます。</p> <p>それでは共通行事からご説明します。市教委の学校訪問は17日月曜日が南中学校、25日火曜日が東中学校、27日木曜日が北中学校となっております。研究発表会が中間中学校で19日水曜日に行われます。意欲的な学習ということで、導入と言語活動を中心に、研究内容が発表されます。また、金融教育についても併せて発表される予定になっております。底井野小学校は28日金曜日に道徳の研究発表を行います。10月13日にベストラントライアルを計画しておりましたが、校長研修会などの日程と重なり、調整の結果、11月9日水曜日に変更いたしました。</p> <p>小学校の行事でございます。東小学校は9月30日、10月1日と修学旅行に行っております。全員無事に帰ってきております。その他の小学校につきましては、2日に体育会が行われております。のちほど報告があると思います。中学校につきましては、東中学校は6日、7日が中間考査です。それから、南中学校は3日に労働安全衛生委員会が入っておりますが、これは記入ミスですので削除をお願いたします。労働安全委員会は13日です。以上です。</p>
河本委員長	<p>このことについて、ご質問などありましたらどうぞ。</p>

中尾委員	いいですか。
河本委員長	どうぞ。
中尾委員	11日底井野小学校の「人権の花感謝状贈呈式」、それから、中間小と南中に「赤ちゃんふれあい体験」というのがありますが、その内容と、あと南中の「一実践」と言うんですか。1つずつたくさん書いてあるんですけど、それも内容が分からないので教えていただけたらと思います。
河本委員長	ご説明お願いいたします。
森学校教育課 指導室長	<p>では、回答いたします。まず、底井野小の「人権の花感謝状贈呈式」ですが、人権擁護委員さんの事業で、ひまわりの種をまいて「人権の花」として育てています。それに対する感謝状が人権擁護委員から贈られるというものです。</p> <p>次に、「赤ちゃんふれあい体験」は保健センターの事業だということを伺っております。赤ちゃんとのふれあいを擬似的に体験し、生命の大切さについて体験的に学ぶというものです。これは南中学校でも実施します。</p> <p>それから、南中学校の「一実践」についてですけれども、こちらは校内研修の一環として、先生方が互いの授業を見学しあって、授業の進め方、指導方法について学習する機会を校内で独自に設定されているとのことです。</p>
中尾委員	ありがとうございます。
河本委員長	その他、ありませんか。
衛藤委員	<p>いいですか。東小学校では、ベストラントライアルが実施される時期に「走り方教室」というのが今年は2回ほど、去年も確か2回ほど計画されていました。スポーツ業者などの指導者を呼んで指導したというのが去年の例ですが、今年も同じような内容なのかどうか、お尋ねします。</p> <p>それから、「赤ちゃんふれあい体験」について、内容は先ほどのご説明でよく分かりましたが、教育課程上どういう位置付けがなされているのかということのお尋ねです。</p> <p>もうひとつ、北中学校に「進路講演会」というのがあります。どこか外部の講師等をお招きして、生徒に対して講演いただくという内容だと思います。</p>

ますが、それについて詳しいことが分かっていたらお聞きしたいです。以上3点でございます。

森学校教育課
指導室長

はい。では回答いたします。まず、「走り方教室」についてです。こちらは昨年度と同様に、会社名を申し上げますとミズノさんを通じて2名ほど講師を派遣していただく予定だと伺っております。

それから、「赤ちゃんふれあい体験」の教育課程における位置づけについてですが、小学校では総合的な学習の時間として、中学校では保健体育の一環として行われるということです。

そして、北中学校の進路講演会ですが、こちらは希望が丘高校の先生をお招きして、高校での生活や、生徒指導の関係について全校生徒を対象にお話をさせていただくと伺っております。

衛藤委員

はい。「赤ちゃんふれあい体験」について、赤ちゃんとふれ合うということは、命の大切さとか、小さい子どもたちとの繋がりを大切にするという意味で大変いいことだと思います。保健センターの事業ですから、多くの学校に輪を広げていくことは難しいと思いますが、今月たまたま中間小学校だけの実施になっていますので、市内でももう少し広げられたらと思います。今年は確か小学校2校で実施されているかと思いますが、もう少し3校、4校と広げて行ってほしいです。中学校も今月は南中学校ですが、確かもう1校やっていましたよね。総合的な学習の時間であれば教科にとらわれないから、もっと広げられるのではないかという感じがしましたので、意見として言っておきます。

河本委員長

他に何か、よろしいですかね。

では私からひとつお願いというか、この前、朝日新聞を読んでいたら、中学生の投稿だったと思うんですけど、今盛んに英語学習をやろうとしているけど、今のやり方では結局、間違えたら恥ずかしいから授業中に発表できない、だからあまり意味がない、というようなことが書かれていたんですよね。それは英語だけでなくいろんな授業に共通することだと思うんです。それで、先生の言い方ひとつで子どもが恥ずかしくなく発表することができると思うので、そういった授業の工夫をしていただきたいです。間違えたことによってまたそこで進歩できることがありますから、積極的に授業に参加できるように、間違えたことを言っても恥ずかしくないような雰囲気作りをしていただきたいと思いました。以上です。

他に、何かありませんか。

では次に、社会教育行事についてご説明をお願いいたします。

古賀生涯学習
課長

はい。それでは平成28年10月の社会教育行事予定表をもとに主なものをご説明いたします。まず10月9日「なかまスポーツフェスタ2016」を開催いたします。これについては、お手元に資料をお配りしています。ちょっと開いていただいているいいですか。プログラムの中で4番目にある準備体操、これは日本体育大学オリジナル体操です。9月補正で承認されましたので、今日か明日くらいにはDVDが届くと思います。すぐダビングして関係諸課に配布し、当日の準備体操はこのオリジナル体操をやりたいと思っております。それから7番目の競技「ニュースポーツ アジャタ」、これは去年くらいから少しずつやっていることですが、今回は紹介ではなくて競技として、順位をつける形で行いたいと思います。また右ページには市内各地の施設で行われるものを載せております。16日には、このスポーツフェスタの一部として、ギラヴァンツ北九州のサッカー教室が北小学校で実施されます。定員は大体60名くらいとしています。

次に19日美術展の審査会ですが、これは11月3日から6日にかけてハーモニーホールで中間市の美術展をやるので、その前に審査会を行って、例えば市長賞など、賞を決めてから展示するという事になっております。

次に22日と23日、「2016コミュニティ文化祭」ということで、これも資料をお配りしておりますが、コミュニティ施設9施設の中でこうした催しを企画しています。また30日には第5回中間市小学生相撲大会を南小学校で、これもスポーツフェスタの一部という位置付けで行います。以上です。

河本委員長

このことについて、ご質問などありましたらどうぞ。

衛藤委員

このことではないんですが、8月の教育委員会の議事録の中で放課後イングリッシュスクールの検証委員会を10月、1月、3月と3回行うと書いてありますよね。10月の予定に入っていないんですが、それはいつするんですか。

古賀生涯学習
課長

10月に行う予定ではございますが、検証委員会の委員長である太田先生に昨日アポイントをとってございまして、確定はしておりませんが、7日から14日で調整をしております。

河本委員長

よろしいですか。他に何か質問などおありの方はどうぞ。ありませんか。それではないということですので、他に報告事項がありましたらどうぞ。

掛橋学校教育
課指導主事

平成28年度全国学力学習状況調査結果の概要についてご説明いたします。資料「平成28年度 中間市における全国学力・学習状況調査結果報告」をご覧くださいと思います。まず1番、小学校6年生の状況につきましても、そちらのグラフにお示ししているとおりでございます。平均正答率は全国に比べて若干下回っていることがご覧いただけるかと思いますが、概ね大差はございません。今年はこの調査が始まって10年という節目を迎えますけれども、全国との差は10年間で確実に縮まっているというデータが出ております。また、平均正答数、問題数でみた場合は、全国との差は1問以内、最大で0.4問差となっていることをご報告いたします。今年度、課題がみられた問題は以下のとおりです。これは正答率の低かった問題をピックアップしております。まず国語です。ローマ字や漢字を書く、読むといったことに課題があります。特にローマ字におきましては正答率49.9%、漢字は76.9%という状況です。ローマ字につきましても、全国的にも厳しかったという分析が出ておりますが、中間市は全国平均を若干上回っております。目的に応じて質問したいことを整理するというB問題、これはスーパーマーケット等のインタビュー活動メモ等をもとに答えていく問題ですが、正答率41.2%でした。

算数につきましても、割合を百分率で表す場合において基準量と比較量の関係を理解しているかどうかをみる問題が正答率約47%、B問題では、示された除法の式を並べてできた形と関連付け、角の大きさを基に式の意味を説明できるかという問題が4.8%という衝撃的な数字でございました。これについては全国でも6%台だったということで、全国的な課題であるととらえております。

続きまして、中学3年生の状況でございます。中学3年生の平均正答率は、こちら全国平均を下回っており、数学においてその差が開いてしまったという結果が出ました。しかしながら、基礎的な知識を活用する活用問題、B問題において、この10年間で全国との差は少しずつ縮まってきているというデータも得ております。こちらにつきましても、平均正答数でみた場合、数学A以外については1問程度となっておりますので、引き続き「あと一問頑張る」というスローガンのもと指導、援助にあたっていきたいと思っております。課題がみられた問題は以下のとおりです。まずA問題につきましても、日常の話題について相手の立場や考えを尊重し、目的に沿って話し合い、そして互いの発言を検討して自分の考えを広げて

いくというような問題について、約半数の51%、文字の大きさや形、配列などを理解しているかということは25%、これは書道の楷書の文字を見て、AとBを比べてどのような工夫があるか、修正した楷書の文字はどんな工夫をして修正しているかを問う問題でしたが、こちらについては今後学校においてももう少し時間をとる必要があると分析したところがございます。続きまして、本や文章から必要な情報を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを書くという問題ですが、これは47.9%でございました。数学において厳しかったのはやはりB問題の部分で、これは全国的にも厳しかった問題ですが、与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明する、つまり「数学を言葉で説明する」というところに課題がございますので、こちらについても授業改善を図りたいと思っております。学習調査については以上です。

学習状況調査については現在分析中ですが、昨年度から改善がみられた項目は、現在小中連携学力アップ推進事業として全校を挙げて家庭学習の取り組みをしているところですが、平日1時間以上家庭で勉強するという子どもが小学校は5.5ポイント、中学校は10ポイント以上アップしたという嬉しい結果が出ております。逆に30分以下しかない、全くしないという子どもは小学校で4.9ポイント、中学校で3.9ポイント減ったということです。学習時間を確保していく取り組みは少しずつ浸透してきているのではないかと考えております。他にもありますが、詳細を分析して今後の教育委員会でご報告したいと思っております。体制作りは整ってきていますので、今度は質の向上を目指して支援等を行っていきたくと考えております。以上です。

森学校教育課
指導室長

併せまして、平成28年度新体力テストの結果についてご報告申し上げます。こちらは全国の集計、分析等がまだ届いておりません。大体11月頃に届く予定だということですので、昨年度の全国データと比較を行っております。全国では、小学校で5年生、中学校で2年生がそれぞれ調査対象となっておりますので、そちらと中間市内の小学5年生、中学2年生をそれぞれ比較したものを示しております。

まず小学校についてです。薄い黄色になっている部分が、昨年度の全国平均との差が縮まった項目です。種目別にみますと、握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、50m走については男女共に数値が向上しております。その他に、女子は20mシャトルラン、ソフトボール投げについても向上しております。全体的に体力の伸びが少しずつ感じられる結果となっております。ただ課題もみられまして、立ち幅跳びは男女共に全国平

均には届いていない状況です。跳躍力の伸長といったところを取り組みの重点にしていく必要があろうかと考えております。また、投力については全国的に弱いという傾向があります。遊びの中で投げる経験が減ってきているという分析もございまして、本市の子どもたちも当てはまるかなというところがありますので、来年度の取り組みに反映させていきたいと考えております。さらに詳しい分析については、全国の集計結果が届き次第行います。

続きまして、中学生の記録です。2枚目をご覧ください。こちらにつきましても、黄色い項目が多いことから、向上している種目が多いことがご覧いただけると思います。中でも、特に女子の記録の伸びがある程度みられることが、とてもいい傾向かなと思います。課題となる点は20mシャトルランですね。こちらは男子について昨年度よりも結果が下回っております。女子については昨年度より向上しているんですが、全国平均にはまだ遠いのかなと思います。こちらは持久力を測る種目ですので、持久力の向上というのは大きな課題だと思っています。それから、小学生と同様に立ち幅跳びの記録がやはりまだ全国平均に届いていない状況がみられます。跳躍力についても併せて重点的に取り組んでいく必要があるということで、学校と連携しながら今後の向上を図りたいと考えているところです。以上です。

河本委員長

このことについて、ご質問などおありでしたらどうぞ。よろしいですか。何かありますか。

衛藤委員

学力調査の件だけ、いいですかね。30日だったと思いますが、NHKで保護者が一番見ている時間帯に、北九州市の学力調査の状況について放送していましたが、これから北九州市教育委員会としてはどうされますか、という問いに対して、「学力向上推進室」を作って集中的に取り組めます、という話があったわけですが、それはテレビだからそういう部分だけ取り上げたのかもしれませんが、ちょっと不安になったのが、中間市は北九州市と同じ第4学区なので、中学生は北九州市の子どもと競争しないといけない。そうすると、北九州市は特別な推進室を作って学力向上のために頑張っているということを知ったときに、中間市は大丈夫かなと思うわけです。北九州市の子どもと競争しなければならないという現実を見たときに、北九州市の中学3年生と中間市の中学3年生では、一方の市だけがものすごく力を入れて取り組んでいる感じがして、中間市の状況について何も情報が入ってこない、保護者は不安に思うんじゃないかなと。

だから、今この成績を見ると中間市の子どもも頑張っているということがはっきり伺えるので、ホームページの発信のしかたを工夫されて、小学6年生が頑張っている点はここです、よくなっている点はここです。また中学3年生がよくなっている点はここです、というふうなホームページの作り方をして発信すれば、中間市も一生懸命頑張っているんだなということが伺えると思います。要はホームページを見る親や関係者は多いと思いますから、見たときに安心できるような発信のしかたを工夫していただいたら、保護者も心配がなくなるのではないかという気がしましたので、意見としてお伝えしておきます。

増田教育長

貴重なご意見ありがとうございました。中間市も、小中連携した学力アップについてはかなり前から取り組んでおります。中学生の修学旅行を今年から2年生で行くようにしたり、体育会を前倒しして1学期に実施し、2学期は勉学に集中する形にしたりして、3年生が高校入試にしっかり取り組めるよう、計画を変更しております。このあたりもホームページ等で十分アピールしていきたいと思っております。ありがとうございます。

河本委員長

他に何かおありでしたらどうぞ。いいですか。

今のことにも関連しますが、先日、女性教育委員研修会で講師の先生がおっしゃっていたのは、教育は成果が出るのに時間がかかるということなんですよね。ホームページに載せる必要はないかもしれませんが、このことを保護者などに理解していただくのも大切ではないかと思います。また、そういう言葉に甘んじないで、確実に成果を上げるように子どもも努力しなければいけないと思われましたので、お願いいたします。

他に何か、ないでしょうか。ないようでしたら、体育会についての感想をお願いしたいと思います。

衛藤委員

では、私から。私は西小学校に行ってきました。8時50分から14時10分まで、子どもたちはずっと頑張って演技していました。校長先生の挨拶の中で、体育会前の一週間は雨が降ってほとんど練習できなかったのも、もしかしたら練習の不十分さが演技の中に出てくるかもしれないが、そこは子どもたちの頑張りに期待して見てください、ということが言われましたが、内容としてはまったく練習不足を感じさせないものでした。終始子どもたちが体育会に対して非常に燃えて、打ち込んでいることがわかる演技や態度であり、大変よかったですと思います。子どもはいざというときにはすごい力を発揮するんだなと感じて、さすががしく思いながら大変気

持ちよく参加いたしました。それを特に感じたのは組体操で、5年生と6年生の男女が一緒にやっていますが、これは先生たちが一番不安に思っていたところで、やっぱり練習不足の関係で壊れたりとか、組むのが遅くなったりということはあったんですが、そういうことを感じさせないほどすばらしい演技で、観客から拍手が鳴りやまなかったという状況でした。以上です。

中尾委員

私は中間小学校に行きました。雨天用のプログラムに変更されていましたが、当日10時頃にはもう晴天になっていましたので、すべての演技が行われました。開会式では、児童が元気いっぱいに割れんばかりの大きな声で挨拶をして始まりました。特に注目していたのは表現の演技なんですが、体全体を使って全力で演技していました。特に4年生は、すごく難しいステップで高度なダンスでした。

また、6年生の組体操は男女で行われて、音楽に合わせて出来上がった、崩れたりというメリハリのあるものでした。先生にお話を伺ったら、やはり例年よりは難度を下げ、安全面に十分配慮して怪我のないようにされていて、当日も先生たちがたくさんサポートに入っていました。児童ひとりひとりから絶対に決めてやるっていう意気込みが伝わってきて、その一生懸命な姿が見ている人達に感動を与えていました。みんなやりとげた達成感で誇らしげな、すがすがしい顔をしていたのが印象的でした。以上です。

齊田委員

はい。私は北小学校に行ってきました。今年で63回目、「赤白ともに心はひとつ全力で」というテーマで行われました。天候は申し分ないほどの晴天であり、ちょっと暑いくらいでございました。前日からの悪天候もあって、グラウンドの状態が心配だったんですが、特に北小学校は水はけがいいということで、本当にベストの状態であったように感じます。印象的だったのが、恒例になっている体育会の歌ですかね。体育会の歌にピアノカを入れたアレンジや所々に個性を取り入れていまして、何か新鮮さを感じました。ダンス等の表現の部門ですけれども、小道具をふんだんに取り入れて、とても華やかなものでありました。保護者の方々は、テントの張り方等について、前列はなるべく控えて、後ろの方からテントを張るといような注意点やマナーを守られているように感じました。

それと、これは質問と申しますか、どこの学校に限ってということではないんですが、飲酒されている保護者の方々がたまに見られました。飲酒が悪いということではないんですが、車で来られている方もいらっしゃる

と思いますので、飲酒に対しての注意点などがあるのであれば、教えていただきたいなと思いました。以上でございます。

片平学校教育
課長

よろしいですか。飲酒につきましては、プログラムの中に書かれている学校もあるかと思います。私の知っているところではそのような状況です。

増田教育長

私は底井野小学校に行きました。底井野小学校は142回目の体育会ということでした。全校児童が132名と少なく、1学年平均して大体25名くらいです。しかしここで驚いたのは、児童が非常に元気がいいということです。応援の方々も児童以上に多く、お父さん、お母さんだけでなくおじいちゃん、おばあちゃんもたくさん来られて、非常に賑わっておいりました。

プログラムの種目もよく工夫されていて、決まった結果が出ないように途中でじゃんけんを入れたり、いろんな競技を入れたりして最後まで頑張ってみないと結果がどうなるか分からないようにしてありましたから、子どもたちも非常にやる気を出して、最後まで頑張っておりました。PTAの参加競技も、この地域は非常に和気あいあいとしていて、放送で参加を呼びかけるとすぐ集まっていたいて、本当に地域と一体になって盛り上がる体育会だったと感じております。以上です。

河本委員長

それでは最後に、私は南小学校に行ってみりました。まず、校長先生の「勝つことだけを考えるような体育会にならないように、ただ競争するだけではなく、相手の健闘も願いながら、たとえ徒競走などで転んでも最後まで走りぬけるような体育会にしたい」という挨拶が印象的でした。

そして、一言で言えば、細部においてとても工夫のある体育会でした。保護者席ひとつとっても、昨年度の反省から、PTAなどと話し合っ通路より前面はビデオ観覧席に、通路より後ろ側を保護者席にして、自分の子どもが出場したときは観覧席で見て、見終わったらまた後ろに下がるということをされていました。ちゃんと守られるのかなと不安もありましたが、思ったより混乱がなかったように伺われました。競技ひとつひとつも、とても工夫がなされていて、例えば先ほども話がありましたが、ダンスの時には小道具を使って華やかにされていました。あと一番印象的だったのが6年生の組体操で、入場の時に全児童が大縄跳びを跳び越えながら入ってきたんです。そして、ひとり一人が大きな旗をもってまずダンスを踊って、音楽に合わせながらの組体操というものがあり、それがとても美しく見えました。また、応援合戦では紅白色違いでお揃いの着物のようなもの

を羽織って、校長先生の言葉どおり互いの健闘を願うような応援をしていました。それと、ダンスの時に先生方が壇上に上がって、児童と一緒に一生懸命踊られているのが印象的でしたし、それに子どもたちが応じているのか、とても元気で声が大きいのも印象的でした。

それと、1つだけ気になることがありました。これは警備の方の問題だと思うんですが、学校の周りに車を止めて降ろしている親が多く、ちょっと車が進みにくくて大丈夫かなと思う場所が何件かあり、近所から苦情が出ないのかなという心配がありました。たぶん先生方は体育会に集中していて気付かれていないと思うので、来年の参考になさったらと思います。

他に報告事項はよろしいでしょうか。では、協議事項に移ります。平成28年11月定例教育委員会の開催について、ご提案をお願いいたします。

田中教育総務
課長

はい。11月の定例教育委員会ですが、行事等の調整をいたしまして、10月31日月曜日10時から、第一委員会室で開催したいと思います。

河本委員長

よろしいですか。

各委員

はい。

田中教育総務
課長

お願いいたします。

河本委員長

お願いいたします。

次に平成28年度総合教育会議の開催についてご説明をお願いいたします。

田中教育総務
課長

はい。資料の3ページをご覧くださいと思います。総合教育会議の次第を載せております。日程につきましては、10月25日火曜日14時から、場所は第一委員会室を予定しております。会議の内容ですが、開会にあたって市長と委員長のご挨拶をいただきたいと考えております。議事といたしましては、昨年度の第3回総合教育会議で提案いたしました新規事業の進捗状況について報告いたしますので、ご検討いただきたいと思っております。その他につきましては、市長と教育委員の皆様のフリートークということでお願いしたいと考えております。以上でございます。

河本委員長

よろしいですか。このことについてご質問などおありでしたらどうぞ。ないですか。協議事項、その他おありでしたらどうぞ。

それではないようですので、これで平成28年10月の定例教育委員会
を閉会いたします。お疲れさまでした。

各委員

ありがとうございました。

[閉会時刻：午前10時49分]